

家畜衛生だより

最上家畜保健衛生所
最上地域家畜畜産物衛生指導協会
令和7年11月発行

国内5例目の高病原性鳥インフルエンザ (HPAI) 疑似患畜確認！（宮崎県）

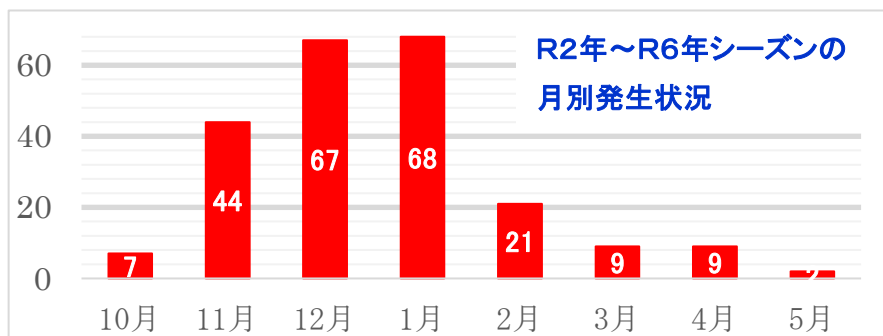
宮崎県の肉用鶏農場で高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の疑似患畜が確認されました。**今シーズン5例目、九州では今季初の確認です。**

1 発生農場の概要

宮崎県日向市 肉用鶏 約4.8万羽

2 経緯

- 11月21日、農場から通報を受け、立入検査。鳥インフルエンザの簡易検査で陽性反応。
- 11月22日、遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜と確認。



左図はR2年～R6年シーズンに発生した計223例の月別発生数のグラフです。
12月と1月の発生が最も多いことがわかります。今後、より一層の注意が必要です。

HPAIの危険性は更に増加します。飼養衛生管理基準を順守し、ウイルス侵入防止対策の徹底をお願いします

- 農場への人や車両の出入の際の消毒等の徹底
- 野生動物の農場への侵入防止、ネズミやハエ等の駆除徹底
- 万が一、異状を発見した場合は、**すぐにかかりつけの獣医師又は当所までご連絡ください**

最上家畜保健衛生所 ☎ 0233-29-1357（休日・夜間も対応）